報道関係各位

2026 年 9 月 3 日
株式会社ロッテホールディングス
野村不動産株式会社

今後の複数拠点展開を視野にロッテ HD×野村不動産が合弁会社を設立
2028 年 3 月に開業するライブハウス「BEAT PARK OSAKA」を運営
～拡大するライブ需要に応える中規模会場の創出とマルチユース運用による新大阪の活性化～

株式会社ロッテホールディングス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 CEO：玉塚 元一、以下「ロッテホールディングス」）と野村不動産株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：松尾 大作、以下「野村不動産」）は、2028 年 3 月に新大阪駅から徒歩 3 分の場所に開業予定のライブハウスを運営するための合弁会社「株式会社 BEAT PARK（ビートパーク）OSAKA」（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：宅間 弘治）を設立し、同施設の名称を「BEAT PARK OSAKA」に決定しましたのでお知らせします。

本日、両社および新会社の代表が登壇する記者発表会を開催し、事業戦略や今後の展望を説明しました。詳細は次の通りです。

【記者発表会の様子】
左からロッテホールディングス：玉塚 元一、BEAT PARK OSAKA：宅間 弘治、野村不動産：松尾 大作

1．事業参入の背景

国内のライブ・エンターテインメント市場は 2023 年から 3 年連続で過去最高を更新し、2025 年には音楽・ステージ合計で約 8,500 億円規模に達しています。2035 年には 1 兆円超と予測され（*1）、公演を行う施設の需要も高まり続けています。アーティストは一般的に数百人規模のワンマン公演から 1,000～2,000 人規模へと段階的に動員を伸ばし、アリーナ・大型ホール公演を目指します。西日本最大の都市圏である大阪では、こうした規模の公演需要が高まる一方、市内のライブハウスは多くが小規模施設で、1,000 人を超える中規模会場は数館に限られています。加えて、人気の会場は週末を中心に稼働率が高く、希望日程での確保が難しい状況にあります。

ロッテホールディングスと野村不動産は、この状況を大きな事業機会と捉えました。すでに賑わいを見せる大阪のエンターテインメントシーンに新たな中規模会場を開業することで、公演機会の拡大に加え、来場者の飲食・宿泊といった周辺消費へのさらなる波及も期待できます。大阪のライブ・エンターテインメントをさらに盛り上げたいという両社の思いが合致し、それぞれの強みを結集してライブ・エンターテインメント事業に参入します。

２．合弁会社「株式会社 BEAT PARK OSAKA」の設立と両社のシナジーについて

両社は施設の開発・保有にとどまらず、資本・人材を投じて自ら運営に携わる体制として合弁会社「株式会社 BEAT PARK OSAKA」を設立しました。

ロッテホールディングスは、中核事業である菓子・アイス領域をはじめとしてホテル、ヘルスケアなどのほか、日韓両国でのプロ野球球団運営や韓国「ロッテコンサートホール」「シャルロッテシアター」の運営など、"リアルな熱狂の場"を創出してきました。また、「ライフスタイル・エンターテインメント」を今後の成長戦略の柱として、各地に所有している不動産アセットの有効活用と価値最大化を進めています。

同社のファンマーケティングとコンテンツ誘致の知見と野村不動産の不動産開発のハード・ソフト両面のノウハウ、代表取締役社長に就任した宅間 弘治の音楽業界での現場経験を活かし、アーティストの表現を最大限に引き出す環境を整え、アーティスト・ファン双方の満足度を高めるオペレーション体制を確立します。そして、来場者のライブ体験をより豊かにし、大阪のライブ・エンターテインメントシーンをさらに盛り上げてまいります。

株式会社 BEAT PARK OSAKA は、貸館事業を軸としながら、主催者やアーティストに近い立場でニーズや課題を捉え、施設運営に反映していきます。あわせて本施設は、開放的なホワイエ空間を備え、ライブ公演だけではなく、企業の入社式・株主総会・記者発表会、学生の成果発表会やその他地域と密着したイベントの開催など、誰もが入りやすく多様な使い方ができる「マルチユース型」の施設とします。これにより休日・平日を問わず、年間を通じて街に人の流れを生み出します。施設運営を通じて地域や音楽業界の皆様と長期的な関係を築き、ここで蓄積した運営ノウハウをもとにした今後の複数拠点展開も構想しています。

さらに、韓国ロッテグループの広告代理店「テホン企画」と K-POP をはじめとするグローバルコンテンツの誘致およびマーケティング協力に関する MOU（基本合意書）を締結し、グローバルネットワークを活用することで、魅力的な K-POP コンテンツを積極的に誘致し、高い集客力とメディア訴求力を備えたライブ・エンターテインメント拠点を確立します。

３．「BEAT PARK OSAKA」の５つの特徴と魅力

「BEAT PARK OSAKA」のコンセプトは「鼓動を分かち合い、想いを紡ぐ場所。」です。誰もがアクセスしやすい開かれた拠点（PARK）として、アーティストとファン、そしてファン同士がライブや飲食を楽しみながらフラットに熱量を共有し合える空間を提供します。ネーミングの BEAT の中には鼓動という意味だけでなく『EAT』（食）、PARK の中には『ARK』（方舟）、という意味合いも込めており、最大の特徴は「聴く・食べる・語る・出会う・創る」を一体化した複合体験にあります。施設としての魅力は下記の通りです。

① 全国から集客可能な立地

大阪府内で唯一の新幹線停車駅・新大阪駅から徒歩３分と、大阪エリアの玄関口として、関西エリアにとどまらず遠方のファンも日帰り来場が容易な立地です。アーティスト・スタッフの移動効率も高く主催者負担を軽減します。

新大阪駅周辺地域は 2022 年に国の「都市再生緊急整備地域」に指定され、大阪府の「新大阪駅周辺地域ま

ちづくり方針」では、乗り換え拠点から国際交流・ビジネス・観光・文化が集積する都市拠点への機能転換が掲げられています。リニア中央新幹線・北陸新幹線・阪急電鉄の乗り入れも見据えた広域交通の結節点であり、本施設は「乗り換えて通過する街」から「滞在する街」への転換につながる新たな文化・エンターテインメントの拠点として、街にさらなる賑わいを創出します。こうした立地の優位性と、多目的利用を前提としたマルチユース型の運営により、本施設は将来的に稼働率約 80%、年間 30 万人以上の集客を見込み、地域経済・観光・文化振興への波及効果も期待されます。

また、将来的には関西エリアに拠点を置く大手エンターテインメント教育機関と連携し、プロのミュージシャンやダンサーを目指す学生の発表の舞台としての活用や音響・照明などのテクニカルスタッフ志望者の採用を行い、次世代の人材育成に取り組むことも構想しています。これによって、音楽・エンターテインメント業界の発展に貢献します。

② 大型 LED や音響等、アーティスト基準の本格機材を常設

ステージ背面に高精細の大型 LED ビジョンや、海外メーカー製スピーカーとセンサー制御による低域拡張システムを導入した音響を常設。常設化により、アーティストの個性やライブならではの臨場感を引き出すほか、主催者の機材手配コストと設営時間の削減にも貢献します。

③ ライブ前後も楽しめる「滞在型ライブハウス」

開放的なホワイエ空間を設け、野村不動産のリアルな場づくりの知見×ロッテの「食」のノウハウで「聴く・食べる・語る・出会う・創る」が一体となった複合的な音楽体験を提供。ここでしか味わえないロッテ商品とのコラボメニューも展開予定です。

④ 多様な才能の新たな発信拠点

大阪エリアで需要の高い中規模会場とすることで、現在のライブシーンを席巻するアーティストから、世界への飛躍を目指す次世代、関西エリアで活動するアーティストまで、多様な才能の新たな発信拠点としての役割を担い、日本の音楽・エンターテインメントシーンの持続的な発展に貢献します。

⑤ 日韓エンターテインメントの直結

ロッテグループの韓国エンターテインメントネットワークを活用し、K-POP アーティストの初来日ショーケースやファンミーティングを積極的に誘致します。「東京を経由せず、大阪から日本デビュー」という新たな潮流を生み出します。

４．ネーミングライツパートナー・スポンサーの募集について

「BEAT PARK OSAKA」は 2026 年 2 月に着工し、2027 年 11 月の竣工、2028 年 3 月の開業を予定しています。開業に向けた準備を進めるとともに、本日よりネーミングライツパートナー・スポンサーの募集を開始します。
大阪府内で唯一の新幹線停車駅である新大阪駅から徒歩 3 分に位置する本施設は、将来的に年間 30 万人以上の来場を見込みます。国内外のアーティストや音楽ファンの皆様、法人利用で来館するビジネス層、教育関係者および学生まで、幅広い層と継続的に接点を持てる場として、企業ブランドの認知拡大や音楽・エンターテインメント領域での訴求にご活用いただけます。

「BEAT PARK OSAKA」を通じて、大阪から新たなエンターテインメント文化を発信し、多くの人々が集い、感動を共有できる場を育てていきたいと考えています。
その想いにご共感いただき、大阪のエンターテインメントをともに盛り上げていける企業の皆様からのお問い合わせをお待ちしております。

詳細は下記、「BEAT PARK OSAKA」のホームページよりご確認ください。
https://beatpark.co.jp/

■登壇者コメント

◆ **株式会社ロッテホールディングス 代表取締役社長 CEO　玉塚 元一**：

ロッテグループはこの度、自社保有の土地と日韓のプロ野球や韓国での音楽事業などこれまでの歩みを背景に、野村不動産と初タッグを組んでライブ・エンターテインメント事業へ本格参入します。第一歩となる新大阪でパートナーの皆様と大阪のエンターテインメントシーンを熱く盛り上げ、将来的な複数展開も視野に「リアルな熱狂の場」を創出してまいります。

◆ **野村不動産株式会社 代表取締役社長　松尾 大作**：

「BEAT PARK OSAKA」は、当社初となるライブハウス事業への取り組みであり、今後のライブ・エンターテインメント事業の足掛かりにしていきたいと考えております。ロッテホールディングスとのシナジーを最大限に発揮し、新たな体験価値の創出とともに、文化・エンターテインメントの新拠点として、新大阪エリアの街づくりに貢献してまいります。

◆ **株式会社 BEAT PARK OSAKA　代表取締役社長　宅間 弘治**：

この施設は新大阪駅から徒歩 3 分という圧倒的な利便性を生かし、全国から集うファンやアーティストが「鼓動を分かち合い、想いを紡ぐ場所。」です。最新機材の常設等で演者を支えるとともに、充実したホワイエ空間での飲食や交流など、開演前から終演後までライブの熱気と余韻を共有できる体験を提供します。大阪から新たなエンターテインメントの潮流を生み出し、この地を新たなカルチャー発信拠点へと育ててまいります。

（出典）

*1 ぴあ総研調べ（https://corporate.pia.jp/csr/pia-soken/result/index.html ）

＜別紙 1＞

■本記者発表会の開催概要

開催日時：2026 年 9 月 3 日（木）14:00～15:30

会場：梅田スカイビル（大阪市北区大淀中 1-1-88）

登壇者：

- 株式会社ロッテホールディングス 代表取締役社長 CEO 玉塚 元一
- 野村不動産株式会社 代表取締役社長 松尾 大作
- 株式会社 BEAT PARK OSAKA 代表取締役社長 宅間 弘治
- トークセッション登壇者：
  株式会社キョードー大阪　代表取締役／一般社団法人コンサートプロモーターズ協会　常務理事　佐藤 浩史
  アソビシステム株式会社　代表取締役　中川 悠介
  FM802　ラジオ DJ　大抜 卓人、高樹 リサ

（すべて敬称略）

【新会社概要】

名称	株式会社 BEAT PARK OSAKA
代表者	代表取締役社長　宅間 弘治
所在地	東京都新宿区西新宿 3 丁目 20-1
設立	2026 年 8 月 3 日
資本金	5,000 万円
株主	株式会社ロッテホールディングス、野村不動産株式会社
事業内容	ライブハウス「BEAT PARK OSAKA」の企画・運営
URL	https://beatpark.co.jp/

【代表者プロフィール】

・氏名：宅間 弘治（たくま こうじ）

・経歴：1997 年 エイベックス株式会社入社
2017 年 同社執行役員、プラットフォーム事業本部長
2017 年 パスレボ（エイベックス・ヤフーチケット合弁）代表取締役社長
2018 年 HI&MAX（エイベックス・LDH 合弁）取締役
2023 年 株式会社 agrain 代表取締役社長／株式会社ロッテホールディングス エンターテインメント事業統括

■施設基本情報

- 名称：BEAT PARK OSAKA
- 所在地：大阪府大阪市東淀川区西淡路 1 丁目 3-7、3-8（新大阪駅 徒歩 3 分）
- 敷地面積：1,727.24 ㎡
- 構造・規模：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）地上 4 階建
- 収容人数：（スタンディング時）約 1,590 人、（着席時）約 660 人
- 着工：2026 年 2 月
- 予約開始：2027 年初頭（予定）
- 竣工：2027 年 11 月（予定）
- 開業：2028 年 3 月（予定）

<別紙 2>

【施設・パートナー企業に関するお問い合わせ先】
株式会社 BEAT PARK OSAKA
info@beatpark.co.jp

■株式会社ロッテホールディングス（https://lotte-hd.com/）
中核事業である菓子・アイス領域をはじめとし、プロ野球球団の運営、不動産、ファイナンス、CVC、ホテル、ヘルスケアなどの事業を展開しています。今後は食品事業のさらなるイノベーションに加え、日本と韓国の事業シーズを掛け合わせたビジネス創出に向けて、果敢にチャレンジしてまいります。
ロッテグループは 1948 年に日本（東京）でチューインガムの製造・販売を開始。現在では、日本と韓国に本社機能を持ち、世界約 35 の国と地域で食品、流通、金融、バイオ医薬、ヘルスケア、データセンター、ホテル/リゾート、エンターテインメント、建設などの領域でビジネスを展開しています。わたしたちは「Lifetime Value Creator」をグループ統一のビジョンとして掲げ、人々のライフサイクルのすべてにおいて価値を提供し続けてまいります。

■野村不動産株式会社（https://www.nomura-re.co.jp/）
野村不動産株式会社は、住宅、オフィス、商業施設、物流施設、ホテルなど多様な不動産開発・運営事業を展開する総合デベロッパーです。野村不動産グループ 2030 年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developer へ」のもと、人々の幸せと豊かさの最大化を目指し、住まい、働く場、憩い、交流、体験など、多様な時間と価値を創出するまちづくりを推進しています。近年はエンターテインメント領域にも取り組みを広げ、新たな体験価値の創造を通じて、魅力ある都市やコミュニティの形成に貢献しています。

（参考）
■ロッテ初、ライブ・エンターテインメント事業本格参入 新大阪にてライブハウス「BEAT PARK」着工
■野村不動産初、新大阪にライブハウス「（仮称）BEAT PARK」着工